

様式 A 創造英語（長井）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	創造英語 Creative English		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般科目・外国語	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	4年全学科	必修・選択必修・ 選択の別	必修
教員に かかわ る情報	担当教員・所属	長井克己・一般科目		
	研究室等の連絡先	長井:管理・一般棟2階（内線：8188）E-mail: kats@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	言語学/ 英語学・外国語教育	学習・教育目標	F (F-3)
	授業の概要	言語はコミュニケーションのためのツールである。3年次までの学習を基礎とし、英語力をさらに伸ばすため、教官の指導の元に自発的に学習を進める。		
	学習目的	工学を専攻する学生が就職後必要となる状況・場面で用いられる表現に的を絞り、最低限「英語でやっていける」程度の英語力を、毎週の課題と自発的学習により身につけることを目的とする。		
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工学分野の英語表現が理解できる。</li> <li>2. 少しぐらいのミスは気にせずに、自分の伝えたいことを簡単な英語で表現できる。</li> <li>3. 自分の到達度を測るために TOEIC を利用し、380 点以上が取れるようにする。</li> </ol>		
履修に かかわ る情報 と履修 のアド バイス	履修上の注意	本科目は授業以外の自発的学習を含む科目である。従って授業時間以外の自己学習が必要である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成：F-3. 技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。		
	履修のアドバイス	各自 TOEIC の得点など到達目標を定めて、授業に臨むようにする。また、自分のペース・力に合わせてコンスタントに自学自習を進めていく。		
基礎・ 関連科 目にか かわる 情報	基礎科目	英語ⅠA（1年）、英語ⅠB（1）、英語ⅡA（2）、英語ⅡB（2）、英語Ⅲ（3）		
	関連科目	選択英語Ⅰ（4）、選択英語Ⅱ（5）、英語課題研究（5）など		

授業にかかわる情報			
授業の方法		MM教室の電子辞書やネットワーク環境を利用し、テキストの内容に関する課題をほぼ毎週提出する。また、e-learning システム（Net Academy）も併用し、授業だけでなく空き時間の自学・自習により英語力の増強を図る。	
授業計画	開講週	内容〔項目〕（指示事項）	
	前期	1 週	ガイダンス（MM室使用上の注意を含む） / What is engineering?
		2, 3 週	The right person in the right job / The starting point
		4, 5 週	The course for you / What is it made from?
		6, 7 週	Bend it like ... / A picture is worth a thousand words
		8, 9 週	中間試験 / Getting away from it all
		10, 11 週	The car's star / Made by hand
		12, 13 週	Did you read the instructions? / Safety first
		14, 15 週	Are you sitting comfortably? / Small is beautiful
			前期末試験
後期	16 週	前期末試験返却・解説 / Big is best	
	17, 18 週	Bright spark / Servant or master	
	19, 20 週	Gadgets / Bridging the gap	
	21, 22 週	Bridge disaster / 中間試験	
	23, 24 週	Ancient structures / Do you understand?	
	25, 26 週	How do you say ...? / Where have I heard that name before?	
	27, 28 週	What's your number? / It's all just numbers	
	29, 30 週	Your CV / Please apply in writing	
		後期末試験	
教科書, 教材等		教科書 : Lindsay, W. (2003) <i>Engineering Workshop</i> . Oxford University Press. (ISBN 0194388271) 他に MM 室を利用した教材を併用する。	
成績評価方法		4 回の定期試験の結果を 80%（各回 20%ずつ）、毎週の課題提出（Net Academy の進捗状況を含む）を 20%として、総合計により評価する。	
受講上のアドバイス		<p>本高専では 3 年生で週 2 時間しか英語を学習できない。この事実は中学卒業後に高等学校へ進学し、さらに受験準備で英語に多大な労力を費やす場合に比べ、高専生が圧倒的に不利であることを意味している。現実を直視し、その差をできるだけ縮めるよう努力してほしい。</p> <p>なおサポート用に授業のウェブページを設けるので利用されたい。  <a href="http://www.center.tsuyama-ct.ac.jp/homepage/kats/05ce.htm">http://www.center.tsuyama-ct.ac.jp/homepage/kats/05ce.htm</a></p>	